



病院理念

患者中心の良質な医療と地域医療への貢献



中国労災病院

日本医療機能評価機構認定病院

地域医療支援病院

広島県指定がん診療連携病院

◎ホームページにも、いろいろな情報を掲載しています。

中国労災

検索

新機種 XN3100 を導入しました！



新機種『XN3100』を導入しました。

この機器は、患者さんより採血した血液を用いて、「白血球数」、「赤血球数」、「ヘモグロビン」、「血小板数」等を測定する機器です。医師は、これらの結果や問診等より貧血の有無、炎症の有無、治療薬の副作用の程度などを総合的に判断しています。

また、『XN3100』では新たに、幼若な血小板の指標となる「網血小板（IPE）」を測定できるようになりました。「特発性血小板減少性紫斑病（ITP）」、「骨髓異形成症候群（MDS）」の診断に有用な検査です。

これまでも同様の検査機器はありましたが、今まで使用していた機器よりも精度の高い検査結果を報告できると考えています。また、わずかですが測定時間も短縮されていますので、迅速な検査結果の報告に繋がります。

患者さんの声にお答えしますー投書箱よりー



○外来で来た時に「シルバーカー」等があれば助かるのですが、ありますか？

⇒ この度は、貴重なご意見ありがとうございました。

申し訳ございません。当院には、シルバーカー、歩行器、杖を外来に備えておりません。そのため、来院時、歩くのにご不便な場合は、インフォメーション職員にお声掛け頂ければ対応いたします。何卒ご理解の程、よろしくお願い致します。



○職員のマスクの着用について

⇒ 当院の職員のマスクの着用は、喉やくしゃみの症状がある人が着けるとする『喉エチケット』を基本とし、「マスクから鼻が出る」「あごの下に下げる」等の間違った着用方法がないようにしています。治療・看護上の必要性(手術、処置等)がない時は、マスクを着用していません。また、冬期の感染症がはやり始める時期には、院内への持ち込みを最大限に防ぐために、患者さんへの面会や付添いの方にもマスクの着用をお願いしております。

寒暖差が激しくなり始めるこれからの季節、「正しいマスクの着用」を当院職員一同、徹底してまいりますので、皆様もご協力の程、よろしくお願い致します。

